



学都 **サイエンスデイ** 10th Anniversary
仙台 宮城

主催：NPO 法人 **natural science**



災害と
 あなたの残したい未来社会

心豊かに 生きたい

海に囲まれ、四季に恵まれた日本は、
 深刻な災害とくらしの再生、
 自然との共生を歴史に刻んできました。
 科学技術の発展した現在では、
 世界最先端の自然災害科学研究が進められています。
 優れた知識や技術は、
 大災害によって大きなダメージを与えられた
 人々のこころ、人と人との関係、
 そして社会を再生させるための大きな助けになります。
 しかし、それだけで十分でしょうか？
 科学や技術は何を目指して発展するのでしょうか？
 20年、30年後、わたしたちは何に幸せを感じ、
 どのような社会を求めているのでしょうか？



2016年7月17日(日)

参加費
 無料

13:00~15:00

定員1000名

東北大学 百周年記念会館川内萩ホール (川内キャンパス内)

主催：国立研究開発法人科学技術振興機構
 共催：東北大学 東北大学災害科学国際研究所 宮城県多賀城高等学校 NPO法人Natural Science 東北大学大学院環境科学研究科
 後援：東北工業大学
 協力：福島県 株式会社福島ガイナックス 東北芸術工科大学東北復興支援機構

参加申し込み <http://www.science-day.com> お問い合わせ katsudo@jst.go.jp

incorporated nonprofit organization
natural science
 知的好奇心がもたらす心豊かな社会の創造にむけて



「サイエンスアゴラ」は、あらゆる人に開かれた、
 科学と社会をつなぐ広場です。本企画は、
 「サイエンスアゴラ」の一環として行われています。

心豊かに 生きたい

全体進行

(株) 仙台放送「スーパーニュース」
「CATCH」などを担当。現在はフリーアナウンサーとしてCM・ラジオ・イベントを中心に司会活動。子育て中に東日本大震災を経験。震災後、NHKテレビ「ひる☆はび」にて東北6県向け情報番組のメインキャスターを担当。今はラジオ第一「ゴジだちゃ!」の中でも被災地の復興の様子などを伝える。

フリーアナウンサー、元仙台放送アナウンサー

柳生 聡子



タイムテーブル / 登壇者

<p>13:00~13:10</p>	<p>講演 「実践的防災学」の創成と国際連携の現状 奥村 誠 東北大学災害科学国際研究所 副所長 災害交通の専門家。交通基盤、地域・都市計画の実務への協力を行いながら、災害に強く、支援をしやすい地域づくりに取り組む。</p>	
<p>13:10~13:50</p>	<p>講演 「立ちなおっていくチカラ」 金田 諦應 傾聴移動喫茶カフェ・デ・モンク マスター、曹洞宗通大寺 住職、東北大学大学院文学研究科実践宗教学寄附講座 諮問委員、日本臨床宗教師会 副会長 震災直後の2011年5月から、被災者の話を聴く「傾聴活動」「カフェ・デ・モンク」を主催。移動式の喫茶店で、軽トラックにコーヒーやケーキなど道具一式を積みこみ、様々な宗教・宗派の宗教者と共に、週に1度仮設住宅などを訪問。傾聴を通じ、被災者が抱える“心の問題”に寄り添う。</p>	
<p>13:50~14:45</p>	<p>講演 「心豊かな暮らしのかたち」 石田 秀輝 合同会社地球村研究室 代表、東北大学 名誉教授 (株) INAX(現LIXIL) 取締役CTOを経て、2004年より東北大学教授。快適性や利便性のみを追求する「依存型」から、不便さや不自由さを受け入れる「自立型」のライフスタイルへと移行するための、新しいものづくりや暮らしのかたちを提案。現在は鹿児島県沖永良部島を拠点に、「間抜けの研究」に取り組む。</p>	
<p>13:50~14:45</p>	<p>トークセッション ～あなたの残したい未来社会 奥村 誠 × 金田 諦應 × 石田 秀輝 コーディネーター 板橋恵子 ～ 多賀城高校災害科学科のみなさんを交えて ～</p>	
<p>14:45~15:00</p>	<p>ミニコンサート ヘンリ・タタル(仙台フィル) & 木下順子</p>	

終了後、福島の実況とその「光と影」を伝える、実話に基づいた短編アニメーション「未来への手紙～この道の途中から」を上映します(上映時間:約25分)。
 協力:福島県 (株)福島ガイナックス



東北大学百周年記念会館 川内萩ホール (川内南キャンパス内)

〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内 40

交通案内: <http://www.bureau.tohoku.ac.jp/hagihall/access/>

- 地下鉄 東西線
 - ールート1 仙台駅から国際センター駅まで5分 ※国際センター駅下車 西1出口から徒歩約5分(扇坂階段経由)
 - ールート2 仙台駅から川内駅まで6分 ※川内駅下車 南2出口から徒歩約7分(川内北キャンパス内経由)

コーディネーター

東北大学災害科学国際研究所所長の今村文彦教授をパーソナリティに迎えた防災啓発番組を2004年から制作。災害時の非常食のレシピを募集する『サバ・メシ*コンテスト』を企画・実施するなど、震災前から、防災・減災に取り組む。震災後は、ラジオ版『カフェ・デ・モンク』のパーソナリティを務め、ゲスト・インタビューを通じて、震災後を生きるヒントを発信。

エフエム仙台 防災・減災プロデューサー

板橋 恵子

